

日本組織適合性学会
平成 17 年度 決算報告書

自 平成 17 年 4 月 1 日
至 平成 18 年 3 月 31 日

| (収入の部) | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|-------------|------------|------------|----------|
| 会 員 年 会 費 | 3,500,000 | 3,398,000 | -102,000 |
| 寄 付 | | 690,000 | 690,000 |
| 和 解 金 | | 249,235 | 249,235 |
| 学 会 誌 広 告 費 | 1,000,000 | 820,000 | -180,000 |
| 学 会 誌 販 売 | 100,000 | 154,477 | 54,477 |
| 利 息 | 30 | 19 | -11 |
| 当 期 収 入 合 計 | 4,600,030 | 5,311,731 | 711,701 |
| 前 年 度 繰 越 金 | 5,541,755 | 5,541,755 | 0 |
| 収 入 合 計 | 10,141,785 | 10,853,486 | 711,701 |

| (支出の部) | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|-------------|------------|------------|------------|
| 大 会 援 助 金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 学 会 誌 作 成 費 | 2,700,000 | 2,933,507 | -233,507 |
| 学 会 賞 金 | 500,000 | 204,187 | 295,813 |
| 倫 理 委 員 会 | | 165,174 | -165,174 |
| 損 金 処 理 | | 4,224,323 | -4,224,323 |
| 旅 費 | 100,000 | 95,645 | 4,355 |
| 会 議 費 | 20,000 | | 20,000 |
| 通 信 費 | 300,000 | | 300,000 |
| 事 務 局 費 | 300,000 | 318,000 | -18,000 |
| 事 務 費 | 150,000 | 132,909 | 17,091 |
| 当 期 支 出 合 計 | 5,070,000 | 9,073,745 | -4,003,745 |
| 次 期 繰 越 金 | 5,071,785 | 1,779,741 | 3,292,044 |
| 支 出 合 計 | 10,141,785 | 10,853,486 | -711,701 |
| 当 期 収 支 差 額 | -469,970 | -3,762,014 | 3,292,044 |

(繰越内訳 振替口座: 1,135,217 普通預金: 602,709 現金: 41,815)

平成 17 年度日本組織適合性学会会計を監査し、適正であったことを認めます。

平成 18 年 9 月 24 日

日本組織適合性学会 監事

片桐 一
笹月 健彦

日本組織適合性学会
平成 17 年度 認定制度決算報告書

自 平成 17 年 4 月 1 日
至 平成 18 年 3 月 31 日

| (収入の部) | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| QC ワークショップ | 600,000 | 372,000 | 228,000 |
| 講 習 会 | 5,000 | 164,000 | -159,000 |
| 申 請 料 | 80,000 | 135,000 | -55,000 |
| 利 息 | 30 | 0 | 30 |
| 当 期 収 入 合 計 | 685,030 | 671,000 | 14,030 |
| 前 年 度 繰 越 金 | 3,746,280 | 3,867,188 | -120,908 |
| 収 入 合 計 | 4,431,310 | 4,538,188 | -106,878 |

| (支出の部) | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| QC ワークショップ | 200,000 | 273,860 | -73,860 |
| 事 業 経 費 | 100,000 | 257,620 | -157,620 |
| (実技研修費委託費) | 50,000 | 0 | 50,000 |
| (会 場 費) | 100,000 | 0 | 100,000 |
| (講 師 費) | 200,000 | 0 | 200,000 |
| 旅 費 | 200,000 | 149,570 | 50,430 |
| (会 議 費) | 60,000 | | 60,000 |
| (通 信 費) | 20,000 | | 20,000 |
| 事 務 費 | 30,000 | 245,589 | -215,589 |
| 当 期 支 出 合 計 | 960,000 | 926,639 | 33,361 |
| 次 期 繰 越 金 | 3,471,310 | 3,611,549 | -140,239 |
| 支 出 合 計 | 4,431,310 | 4,538,188 | -106,878 |
| 当 期 収 支 差 額 | -274,970 | -255,639 | -19,331 |

(繰越内訳 振替口座: 3,559,800 普通預金: 38,299 現金: 13,450)

平成 17 年度日本組織適合性学会認定制度会計を監査し、適正であったことを認めます。

平成 18 年 9 月 24 日 日本組織適合性学会 監事

片桐 一
笹月 健彦

日本組織適合性学会誌 MHC の投稿規定

1. 投稿規定

1.1. 原稿様式

提出原稿がそのまま電算写植で印刷できるように、原稿は全て、コンピューターのフロッピーディスクとA4サイズでプリントアウトしたものの両者を提出する。ソフトはMSWordとする。字体、サイズ、行の字数、行間、などの体裁は自由とする。また、図表については、写植でそのまま掲載できるものを提出するが、挿入箇所を本文に指定する。図については天地を明示する。印刷の際に、縮小または拡大する場合があるので、考慮すること。また、図表の題や説明はワードで、本文とは別頁に添付する。なお、掲載された論文等の著作権は、日本組織適合性学会に属し、インターネットを通じて電子配信されることがあります。

1.2. 原著論文

会員からの投稿を原則とするが、編集委員会が依頼することもありうる。日本語、英語を問わない。最初の一頁はタイトルページとし、タイトル、著者名、所属、脚注として代表者とその連絡先(電話、FAX、E-mail、郵便番号、住所)を記す。タイトル、著者名、所属は次の様式にしたがう。

Nucleotide sequence for a Cw8 subtype, Cw8N, and its association with HLA-B alleles. Fumiaki Nakajima¹⁾, Yoshihide Ishikawa²⁾, Junko Nakamura¹⁾, Toshio Okano¹⁾, Chieko Mori¹⁾, Toshikazu Yokota¹⁾, Ling Lin^{2) 3)}, Katsushi Tokunaga¹⁾ and Takeo Juji¹⁾

- 1) Kanagawa Red Cross Blood Center, Kanagawa, Japan
- 2) Department of Research, Japan Red Cross Central Blood Center, Tokyo, Japan
- 3) Department of Transfusion and Immunohematology, University of Tokyo, Tokyo, Japan

HLA-Cw8 のサブタイプ “Cw8N” の塩基配列および

HLA-B 座との関連分析

中島 文明¹⁾, 石川 善英²⁾, 中村 淳子¹⁾, 岡野 俊生¹⁾, 森 知恵子¹⁾, 横田 敏和¹⁾, 林 玲^{2) 3)}, 徳永 勝士²⁾, 十字 猛夫²⁾

- 1) 神奈川県赤十字センター, 検査課,
- 2) 日本赤十字中央血液センター, 研究一課,
- 3) 東京大学医学部附属病院, 輸血部,

枚数は特に指定しないが、速報的な短報(全体で、2,000~3,000字、出来上りA4版で2~4枚程度)を中心とする。もちろん、full article も歓迎する。また、新対立遺伝子、日本人に認められた希な対立遺伝子に関する報告も受け付ける。なお、参考文献(References)の記載については、下記1.5を参照すること。原稿の内容は以下に従って記載し、オリジナル1部にコピー3部を添えて、編集長宛(下記3参照)に送付する。

日本語で投稿する場合、内容は二頁目よりはじめ、要約、はじめに、材料と方法、結果、考察、参考文献の順に記載する。また、要約の末尾に日本語のキーワード(5語以内)を加える。脚注は適宜、設けてもよい。本文の末尾に別項で英語のタイトル、著者名、所属(様式は上述に従う)、次の項に英語の要約とKey words(5語以内)をつける。

英語で投稿する場合、内容は二頁目よりはじめ、Summary, Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Referencesの順に記載する。Summaryの末尾に英語のKey words(5語以内)を加える。脚注は適宜、設けてもよい。本文の末尾に別項で日本語のタイトル、著者名、所属、次の項に日本語の要約とキーワード(5語以内)をつける。

1.3. 総説、シリーズその他

編集委員会からの依頼を原則とするが、会員からの投稿も大いに歓迎する。日本語を原則とする。タイトル、著者名、所属は上記1.2.の通りにしたが、要約と要約の末尾に日本語で5語以内のキーワード

を添える。英語で投稿する場合にも、日本語でタイトル、著者名、所属、要約、5語以内のKeywordを加える。その他の体裁は自由とするが、構成がいくつかの章、節などから成る場合には、次の番号に従い、適当な見出しを添える。

1. 2. 3. 4. ……

1.1. 1.2. 1.3. ……

1.1.1. 1.1.2. 1.1.3. ……

脚注は適宜、設けてもよい。なお、参考文献(References)の記載については、下記1.2.を参照すること。

1.4. 校正

校正は編集委員が行い、特別な場合を除き、執筆者は校正を行わない。

1.5. 参考文献

参考文献は、本文中に数字で、例えば(3)、の様に表示し、末尾にまとめて、次のようなスタイルで記載する。ただし、著者名、または編集者名は、筆頭3名まで記載し、以下は省略する。

1. Komatsu-Wakui M, Tokunaga K, Ishikawa Y, *et al.*: Wide distribution of the MICA-MICB null haplotype in East Asian. *Tissue Antigens* **57** (1): 1-8, 2001.

2. Tokunaga K, Imanishi T, Takahashi K, *et al.*: On the origin and dispersal of East Asian populations as viewed from HLA haplotypes. *Prehistoric Mongoloid Dispersals* (eds. Akazawa T, Szathmary EJ), Oxford University Press, p. 187-197, 1996.
3. 徳永勝士, 尾本恵市, 藤井康彦ら: HLA に連鎖した遺伝標識に関するハプロタイプ調査, 移植, **18**: 179-189, 1983.
4. 徳永勝士, 大橋 順: 疾患遺伝子の探索. わかる実験医学シリーズ「ゲノム医科学がわかる」(菅野純夫編), 羊土社, p. 48-55, 2001.

2. 別刷

原著論文については、別刷は有料とする。その費用は部数、頁数による。

3. 原稿送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院医学系研究科
人類遺伝学分野
日本組織適合性学会誌 MHC
編集長 徳永 勝士

TEL: 03-5841-3692

FAX: 03-5802-2907

E-mail: tokunaga@m.u-tokyo.ac.jp

編集後記

私が猪子英俊先生の後任としてMHC誌の編集長を拝命して4年間に過ぎました。この間、編集委員のご協力をいただいて学会員の皆様に役立つ学会誌を目指して参りました。HLAの血清学的分類、NKレセプター遺伝子群の多様性、MHCの比較ゲノムシリーズなどの総説、QCWSレポート、認定試験問題の解答・解説集などある程度ご期待に添えたかと思いますが、皆様からの投稿論文数が少ないままに任務を終えるのは心残りです。

幸いにして、高原史郎新編集長は情熱にあふれ、また編集委員会が関西地域に移ることから、MHC誌に新たな方向性が打ち出されて一層の発展を見せてくれることと思います。学会員の皆様には今後も引き続き、MHC誌へのご支援とご協力をお願いいたします。

最後に、これまで編集委員を務めて下さった先生方、校正担当の石川弘恵さん、そして編集事務を担当下さった小松崎のぞみさんに心より御礼申し上げます。

徳永 勝士

「MHC」バックナンバー

一冊¥2,000にて購入できます。学会事務局までお問い合わせ下さい。なお在庫僅少の号もありますので、万一品切れの際にはご容赦ください。

入・退会、所属・住所・連絡メールアドレス変更

各種の申請は、学会事務局で受け付けます。

日本組織適合性学会事務局

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-3-10

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態分野内

電話 03(5280)8054

FAX 03(5280)8055

電子メール jshijimu.tis@mri.tmd.ac.jp

日本組織適合性学会ホームページ

学会活動に関する情報やHLA遺伝子の塩基配列情報が利用できます。

<http://square.umin.ac.jp/JSHI/mhc.html>

<http://jshi.umin.ac.jp/mhc.html>

MHC

Major Histocompatibility Complex

Official Journal of Japanese Society for Histocompatibility and Immunogenetics

2007年1月31日発行 13巻3号, 2007

定価 2,000円

発行 日本組織適合性学会(会長 木村 彰方)

編集 日本組織適合性学会編集委員会(編集担当理事 徳永 勝士)

平成8年7月24日 学術刊行物認可

日本組織適合性学会事務局(事務担当理事 十字 猛夫)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野内

印刷・研究社印刷株式会社

〒352-0011 埼玉県新座市野火止7-14-8